

キャラクター名
てんこ

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	お人好し
	エンジェルハイロウ					
オプション			年齢	しらん	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	49%	
出自	待ち望まれた子	経験	トラウマ	邂逅	誓い	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	49
肉体	0	0	1			1	行動値	42
感覚	6	0	0			6	(非装備時)	42
精神	2	1	3	21		27	戦闘移動	47
社会	0	0	1			1	全力移動	94

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	10		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術: 善性	6		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0																												
デモンズシード		<table border="1"> <tr> <th colspan="4">ロイス</th> </tr> <tr> <th>対象</th> <th>感情(pos)</th> <th>感情(neg)</th> <th>タイマス消費</th> </tr> <tr> <td>D超血統</td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> </tr> </table>				ロイス				対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス消費	D超血統	P	N			P	N			P	N			P	N			P	N	
ロイス																																	
対象	感情(pos)					感情(neg)	タイマス消費																										
D超血統	P					N																											
	P					N																											
	P					N																											
	P					N																											
	P	N																															
魔狼の心臓																																	
ウィンドスカーフ																																	
回生のピアス																																	
		最大財産P:	2	残り財産P:																													

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1						RB	
効果: 衝動判定ダイス+レベル個								
オリジンレジェンド	10	3	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: 精神判定達成値+(レベル×2)								
七色の直感	★							
効果: 対象の感情や容態をオーラのように読み取れる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

古代種であり、ありとあらゆるものを取り込んで成長し続けたキメラがいた
 それも遙か昔の話、今はなにを食らうでもなく、ただ穏やかに暮らしていた
 ある日キメラは、天使と出会った
 最初には天使を足蹴にしていたキメラも、いつまでも笑顔で接してくれる彼女に絆されたのか、いつしか心を許し、互いに名前をつけあった
 古代種でありながら、エグザイルの特性が飛び抜けて強かったキメラは、本来の姿など、とうの昔に忘れていた
 そのため、天使の、人の姿を、心のなかで羨んでいた
 それを知った天使は、たまにこんなことを言う
 「もし、私になにかあったら…そのときは、パワーが私を食べてよ」
 「そうすれば、私のヒューマンズネイバーを使って、人の姿になれるよ」
 キメラは、その話を聞くたびに機嫌が悪くなった
 縁起でもないことを言うな、と
 このままずっと、平穏な日々が続くと思っていた
 あるときキメラは、天使になにかプレゼントでもしよう、彼女が寝ている間にでかけることにした
 果物、綺麗な石に大きな魚…どれもピンとこず、場所を変えようとしたそのとき
 遠くの方で、レネゲイドの反応を感じた
 嫌な予感がしたキメラは、全速力で天使の元に戻った
 そこには、血を流しながら横たわった彼女と、それを見下ろす人間達の姿があった
 激昂したキメラは、その場にいた人間を全員肉塊に変えたあとで、天使の傍らに座り込んだ
 いつかの彼女の言葉が、脳裏に木霊する
 「もし、私になにかあったら――」
 それともう一つ、思い出した記憶
 「私は、この世界が平和になったらいいなって、いつも思うんだ…でも、限りなく無理に近いよね」